令和５年度　学校評価報告書（目標設定）

	視点	４年間の目標 （令和２年度策定）	１年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	①　教育活動の質的向上を図る。 ②　基礎的で基本的な知識や技能を身に付け、論理的に思考し、的確に表現する力を習得させる。	①　生徒が主体的・協働的に取り組むことができるよう学習環境を充実させ、さらなる授業改善を図る。 ②　知識・技能を身に付けられるよう学習活動の充実を図る。	①　体験的活動やグループ学習を行い、他者と協働して取り組む活動を行う。 ②　各教科において ICT 機器等を積極的に活用し、組織的な授業改善を図る。	①　生徒が他者と協働して主体的に取り組むことができたか。 ②　各教科において ICT 機器等を活用し、授業内容を工夫したか。授業改善に関する研修会を行ったか。
2	生徒指導・支援	①　規範意識や基本的生活習慣の定着を図る。 ②　教育相談体制を充実させ、コミュニケーションをとりながら、課題解決に向けて取り組める人材の育成を図る。	①「一人が一校を代表する」を理解させ、社会の一員である自覚を持たせる。 ②教育相談を活用し、生徒情報の共有を積極的に行う。また、部活動をとおし周囲とのつながりを深め、課題解決に取り組める人材育成を図る。	①毎月の身だしなみ指導を軸に、日常的に規範意識の醸成・定着を図る。 ②生徒情報を共有し、長欠傾向の生徒への相談等を早期に多角的に行う。また、部活動内のコミュニケーションを円滑にするために、活動内容を工夫する。	①特別指導の件数が昨年より減少傾向にあるか。 ②長欠者数が昨年と比べて同等以下に抑えられたか。また、部活動での課題を生徒たち自身で解決することができたか。
3	進路指導・支援	①　生徒一人ひとりの進路希望に応じたきめ細やかなキャリア教育の実践を図る。 ②　地域連携を通して、地域に求められる人材育成を図る。	①　多様な進路に応じたガイダンスの在り方や、生徒指導の在り方を決めていく。 ②　地域の特性をふまえ、人的・物的資源を活用した人材育成を図る。	①　ガイダンスや模試等を活用し、生徒自身が熟慮し進路決定がなされるプロセスを重視する。 ②　県西地域に焦点を当て、企業や関係機関との連携を強化する。	①　模試やガイダンスを計画的に実施することができたか。生徒に進路関係情報を積極的に提示できたか。 ②　地元企業との関係性を深め、生徒に的確な進路情報を提供することができたか。特に就職希望者は内定率が 100%であったか。
4	地域等との協働	①　地域と連携、協働した学習環境の確立及び発展を図る。 ②　地域貢献に資する人材を育成する。	①　地域協働学習実施支援員やコンソーシアムの活用による学習の充実を図る。 ②　学校行事や地域行事、各教科等における地域と協働した学習を推進する。	①「総合的な探究の時間（未来探究）」を中心とした学習において、地域人材や地域企業との協働学習を展開する。 ②　地域と学校の交流を積極的に行う。また、発表活動などを通して、他校種における生徒、児童及び教員との交流を推進する。	①　地域人材や地域企業と連携協働し、コンソーシアムの活用を 10 回以上行えたか。 ②行事や教科等において、地域と学校間の人材交流が推進されたか。
5	学校管理 学校運営	①　教員のワークライフバランスを推進するために、教員の働き方改革を推進する。 ②　社会の変化や、教育の進化に対応するための教職員のシステムマネージメント能力の向上を目指す。	①　職務内容の見直しを図るとともに、自発的なワークライフバランスの推進を図り、働き方改革を促す。 ②　ICT 活用の定着を図る。	①　既存の委員会を活用した小委員会を作り、働き方について検討する。 ②　出張や年休のシステムのマニュアルの改善を図る。	①　新たな働き方改革案を講じることができたか。 ②　可視化された分かりやすいマニュアルができたか。